11 筑波大学附属病院

病院の概要

開設	1976 年３月
開設者	国立大学法人筑波大学
院長名	平松　祐司
病床数	809 床
標榜科（40科）	循環器内科、心臓血管外科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、腎臓内科、泌尿器科、内分泌代謝・糖尿病内科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、膠原病・リウマチアレルギー内科、血液内科、精神神経科、皮膚科、小児内科、小児外科、形成外科、脳神経内科、脳神経外科、脳卒中科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、産科・婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科・口腔外科、メンタルヘルス科、救急・集中治療科、放射線腫瘍科、放射線診断・IVR科、感染症内科、病理診断科、総合診療科、臨床病理科、遺伝診療科、睡眠呼吸障害科、腫瘍内科、病院総合内科、緩和支持治療科
指導医数	348人
研修医数	136人
研修医の主な出身大学	筑波大学、山形大学、秋田大学、北里大学、東京医科大学、獨協医科大学、日本大学、東邦大学、埼玉医科大学、東京女子医科大学、弘前大学、富山大学、山梨大学、愛媛大学、宮崎大学、神戸大学、福島県立医科大学　他
外来患者数	1,781人／日
入院患者数	706人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準、連携B水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります

募集要項

応募資格	2027 年３月国家試験合格見込者
採用人数	65名（一般）3名（小児特別）2名（産科特別）1名（研究医特別）（予定）
試験日程	2026 年８月６日（木）・17日（月）予定 ※研究医特別のみ5月予定
選考方法	書類審査、面接
処遇	■身　　分：医員（研修医） ■給　　与：1年次・2年次 基本的に諸手当等を含め年収約400万円 ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り

応募・問合せ先

筑波大学附属病院

〒 305-8576　茨城県つくば市天久保 2−1−1
担当者：病院総務部総務課　総合臨床教育センター係
ＴＥＬ：０２９−８５３−３５１６・３５２３
ＦＡＸ：０２９−８５３−３６８７
E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp
ＵＲＬ：https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/

■つくばエクスプレス秋葉原駅から快速利用、終点「つくば駅」(45 分)下車後、A3 出口「つくばセンター」バスターミナルで乗り換え※
■東京駅・八重洲南口（2番のりば）から高速バス（筑波大学行）で「筑波大学病院東」で下車又は（つくばセンター行）で終点（60 分）下車後乗り換え※
■ＪＲ常磐線・土浦駅西口（2番のりば）から関東鉄道バスで「筑波大学病院東」(30 分)下車、又は（つくばセンター行）で終点(25 分)下車後、乗り換え※
■ＪＲ常磐線・ひたち野うしく駅東口（1番のりば）から関東鉄道バス（筑波大学中央行）で「筑波大学病院東」(30 分)下車　又は（つくばセンター行）で終点(25 分)下車後、乗り換え※
※「つくばセンター」での乗り換え：6 番のりばから、「筑波大学循環（右回り）」又は「筑波大学中央」行きのバスで約 5 分、「筑波大学病院東」で下車

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…学校宿泊施設（1泊4,700円）
　　又は近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
　担当者：病院総務部総務課
　　（総合臨床教育センター係）
　TEL：029-853-3516、3523
　E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp

育児支援等

筑波大学では育児中の支援に積極的に取り組んでいます。臨床研修では産休・育休の取得、附属の保育園の利用、病児保育の利用が可能です。専門研修ではさらに短時間勤務制度の利用も可能です。また、臨床研修中でも専門研修中でも教育センター専任教員が出産・育児にあわせた研修カリキュラムの調整や相談対応を個別に行っています。

研修プログラムの特色

【一人一人のキャリアプランを応援するハイブリッド研修】
当院の特色は、幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群によって、大学病院と市中病院を一人一人の希望に沿って組み合わせることのできる「ハイブリッド研修」です。大学病院では症例プレゼンテーションや合同カンファレンスなどを通して症例ごとに深く掘り下げて学ぶことができ、市中病院では common disease を数多く研修することができます。市中病院での研修期間は、2年間で最短1か月～最長15か月まで細かく設定することができ、皆さんの目標に合わせた病院・科目選択が可能となっています。
【多彩な経験で視野を広げる】
上記の他、外来研修としての診療所研修、選択科目での保健所研修なども可能で、医療の継続性、保健・医療・福祉の連携、在宅医療などについて研修することもできます。
【3つの特別プログラム】
一般プログラムの他、小児科特別プログラム、産科特別プログラム、研究医特別プログラムがあります。特別プログラムの詳細は個別にお問い合わせください。

研修スケジュール例

例１　幅広く様々な科で研修

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（院外）			救急（院外）			内科			整形			麻酔科		産婦人科		小児科（院外）		皮膚科（院外）		精神科	地域	外科（院外）	
												外来研修（診療所週１回）											

例２　専門分野（耳鼻咽喉科）を重点的に研修

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
耳鼻科		救急		麻酔科		内科（院外）						地域＋選択		小児科（院外）		産婦人科（院外）		耳鼻科（院外）		精神科	耳鼻		
												外来研修											

※すべての診療科で選択研修が可能です。県内すべての基幹型研修病院と連携しています。
※研修スケジュールは個別に希望調査の上、総合臨床教育センター専任教員が個々の希望を調整しながらローテーションを組んでいます。

専門研修の募集について

新専門医制度の全19基本領域で基幹型研修施設となっております。
専門研修においては大学院に進学しつつ専門研修を行うアカデミックレジデント制度、専攻医の出産・育児支援制度、海外留学支援制度などがあり、多彩なキャリア支援を行っております。
基本領域ごとの専門研修プログラムの内容は総合臨床教育センターのホームページ内「専門研修」をご参照ください。

研修・認定施設一覧

主要学会全ての教育認定施設となっております。筑波大学附属病院ホームページでご参照ください。

病院からメッセージ

総合臨床教育センター部長
瀬尾　恵美子

筑波大学附属病院は、開院以来先進的な医学教育プログラムの構築に努めてきました。
卒前、卒後、生涯教育を統括する総合臨床教育センターに専任教員を配置し、一人一人に最適な研修を提供できる環境を整えています。充実した指導体制･研修管理体制･教育資源を持つ大学病院と、common disease を中心に数多くの症例を経験できる協力型市中病院の両方の利点を取り入れた当院の研修プログラムは、研修医ごとに希望に合わせて組まれており、一人として同じ内容はありません。また、専門医の取得や大学ならではの研究医の養成、海外留学制度、出産育児支援の充実など、臨床研修の先のキャリアの広がりも当院の研修の魅力です。ぜひ、医師としての第一歩を筑波大学附属病院で踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。

臨床研修一般プログラム修了者
目良　渉

筑波大学附属病院の研修プログラムの魅力はローテーションの幅広さと自由度の高さだと思います。診療科と関連病院が豊富にあり、どの診療科を回るか、いつ回るか、どこの病院で回るかまで含めた柔軟性があります。進路を内科系で考えていましたが、どの診療科に進むか迷っていました。特に興味があった腎臓内科、代謝内科、膠原病内科を大学病院と市中病院で両方回ることができました。
大学病院では希少な疾患や他科との連携が必要な症例が豊富で、カンファレンスやその準備を通じて学びが深まりました。市中病院では多くの手技を経験させていただいたり、多様な common disease の症例を経験したりすることができました。この経験により、将来の働き方のイメージを持つこともできました。2年間を振り返って、今後の糧となる充実した研修生活だったと考えています。